

夏休み



どくしよかんそうぶんこうざ

読書感想文講座

| | | | | | | | | |
|---|----|---|---------------------------|-----|------|---------|------|---|
| ● | にち | じ | がつ | にち | どようび | | | ● |
| | 日 | 時 | 7月19日 | (土) | | | | |
| | | | 10:15~11:00 | | | しょうがく | ねんせい | |
| | | | | | | 小学1・2年生 | | |
| | | | ※小学1・2年生の参加は保護者同伴でお願いします。 | | | | | |
| | | | 11:15~12:00 | | | しょうがく | ねんせい | |
| | | | | | | 小学3・4年生 | | |
| | | | 13:15~14:00 | | | しょうがく | ねんせい | |
| | | | | | | 小学5・6年生 | | |

- ◆ ば 場所
- ◆ こう 講師
- ◆ ない 内容
- ◆ じ 持ち物
- ◆ てい 定員
- ◆ もう 申し込み方法

せ と だ し み ん か い かん し ち ょう か く し つ
 瀬戸田市民会館 視聴覚室

た が わ や す た か が っ こ う し し ょ
 田川 康隆さん (学校司書)

ほん しょうかい かんそうぶん か か た おし
 本の紹介と感想文の書き方のコツを教えてください。

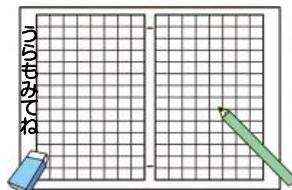
ひ っ き よ う ぐ す い と う
 筆記用具・水筒

か く こ う ざ め い も う こ う け つ け じ ゅ ん
 各講座10名 (申し込み受付順)

も う こ よ う し と し ょ かん も く だ
 申し込み用紙を図書館までお持ち下さい。

で ん わ も う こ
 お電話での申し込みもできます。

が っ こ う し し ょ
 7月 5日 (土) から受け付けます。



〒722-2411 広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田 535-1
 TEL (0845) 27-1877 FAX (0845) 27-2273

尾道市立瀬戸田図書館



なまえ
 名前

がくねん
 学年

でんわばんごう
 電話番号



だい かいせいしょうねんどくしょかんそうぶんぜんこく
第71回青少年読書感想文全国コンクール

しょうがくせいむ かだいとしよ
小学生向け課題図書

ていがくねん ねんせい
低学年(1・2年生)

ちゅうがくねん ねんせい
中学年(3・4年生)

『ライオンのくにのネズミ』 さかとく みゆき／作

ライオンの国に引っこしたネズミの家ぞくですが、子ネズミはライオンがこわくてたまりません。すがたや形がちがうと分かり合えないのでしょうか。なかよくなれるきっかけは、ちょっとしたことかもしれません。

『ぼくのねこポー』 いわせ じょうこ／作

ぼくは学校に行く道で見つけたねこを、おかあさんにおねがいして飼えることになりました。なのに、転校してきた森くんの飼っていたねこがいなくなったと聞いて、どんどんくるしいきもちになっていきます。

『ともだち』 リンダ・サラ／作

いつもふたりであそんでいたのに、あるひ、あたらしいおとこのこが、なかまにいらてほしいとやってきた。ぼくはおもしろくない。そしたらふたりはすごいダンボールカーをつくってきた。きがつけばなかまがふえて、まいにちがさらにたのしくなっていました。

『ワレワレはアマガエル』 まつはし としみつ しゃん／写真

アマガエルが、体のしくみや成長して冬みんするまでをうつくしいしゃんと自こしょうかいでせつ明してくれます。生き物のふしぎや自ぜんかんきょうの大切さをかんじることができる作ひんです。

『ふみきりペンギン』 おくはら ゆめ／作・繪

ふつうってなんだろう?ふみきりでペンギンが、ペロりんへビが、みつあみライオンが、げたフクロウが聞いてきます。友達とけんかしちゃうのはなぜだろう。ふつうじゃないといけなないの。ふしぎなうわさは本当なのかつきとめたいのり、左手でえんぴつを持って何が悪いとゆうと。ふつうじゃなくても自分らしくいることが大事だと教えてくれます。

『バラクラバ・ボーイ』 ジェニー・ロブソン／作

ふしぎな転校生がやってきた。なんとバラクラバという顔がすっぽりかくれる帽子をずっとかぶっている。みんななぜバラクラバをなぜかぶっているのか、どんな顔をしているのか興味津々です。転校生にはいったいどんな秘密があるのでしょうか。

『たった2℃で…』 キム・ファン／文

みんながきつと耳にしたことのある地球温暖化。地球の気温がたった2℃あがるだけでみんなのいのちがあぶなくなります。植物・動物・わたしたち、それぞれどうなるのか知りこれからを考えることができる絵本です。

『ねえねえ、なに見てる?』 ビクター・ベルモント／絵と文

食卓を囲んでいる家族…ゲーム好きのパパ・科学者のママ・音楽家のおじさん…同じ場所にも見ているものや見え方は全く違っていることを描いています。新しい視点で考えると違う世界が見える楽しみがあります。

こうがくねん ねんせい
高学年(5・6年生)

『ぼくの色、見つけた!』 しず 栄子／作

ぼくには人と違うところがあるんだ。お母さんは変に気を使ってくるし、友達にも知られたくない。傷つくこともあるんだ。でも、見てる世界はみんな違う。違うからこそ気づけることもあるんだよね。違いは個性だと、先生やおじいちゃんたちにおしえてもらった。前に進む勇気がもらえるおはなしです。

『森に帰らなかったカラス』 ジーン・ウィリス／作

ロンドン郊外の町に住む動物好きのミックは、ケガをしていたニシコクマルガラスのひなを見つけ、つばさが治るまで家族や友達の協力を得ながらお世話することにします。人と動物の絆を感じる実話にもとづくお話です。

『マナティーがいた夏』 エヴァン・グリフィス／作

11歳のピーターが偶然出会ったマナティーとの交流を通して成長していく様子を描いています。自分をとりまく問題が大きすぎた時どうすればいいのでしょうか。家族愛、友情、動物への愛に満ちた心あたたまる作品です。

『とびたて!みんなのドラゴン』 オザワ部長／作

福岡県北九州市立日明小学校でただひとつの部活動である合唱部に、無口で恥ずかしがりのマナミは入部を決心します。難病ALSに立ち向かう先生と部員たちとともに、全国大会を自指す苦戦と成長を追った実話です。